

**講座内容**  
**国際会議【全5回】**

本講座の狙い：

コロナ禍において国際会議の開催形態が多様化する中、海外の会議主催者との直接的なコミュニケーションをベースとした国際会議の誘致・受入に対応するためのグローバルスタンダードを身に付け、実践的スキルの向上を図ることを目的としています。

	日時	講義項目（予定）	講師
第1回	1月12日（火） 13:30～14:30	<b>【国際会議誘致のメカニズムとトレンド、求められる人材】</b> 国際会議の市場規模や特徴、開催の意義、東京が今後取り組むべき国際会議誘致の方向性等について学びます。また、国際会議主催者から求められるグローバル人材やスタンダードについて、さらにコロナ禍において求められることは何かについて学びます。	<b>野本 加奈氏</b> (公財)東京観光財団 コンベンション事業部 誘致事業課 課長代理
第2回	1月12日（火） 14:50～15:50	<b>【国際会議の現場 ～事前準備から本番：ステークホルダーとの連携～】</b> 国際会議の開催においては、国内外の多くのステークホルダーとの良好な関係構築が不可欠です。準備段階で待ち受ける困難をステークホルダーとの連携により乗り越え、成功に結び付けた経験をもとに、国際会議運営の醍醐味や成功の秘訣を学びます。	<b>野村 佳代子氏</b> 株JTBコミュニケーション デザイン ミーティング& コンベンション事業部 コンベンション1局 リーダー
第3回	1月13日（水） 10:30～11:30	<b>【クロスボーダー契約について】</b> 東京のマーケット特性や、グローバル・マーケットへの対応に不可欠なクロスボーダー契約、国際本部が多く存在する欧米のビジネス慣習との違いに加え、ポストコロナにおける契約形態・手法などの傾向について学びます。	<b>沖崎 晃一氏</b> パレスホテル東京 国内営業部長 兼 グローバルセールス部長
第4回	1月13日（水） 13:30～14:30	<b>【ガイドラインに基づく会議運営と将来の課題】</b> 日本コンベンション協会が策定したコロナ禍における MICE 開催のためのガイドラインの概要、リアル・ハイブリッド会議の国内開催事例や、国際会議をハイブリッドで開催する上での留意点などについて学びます。	<b>田中 弘一氏</b> (一社)日本コンベンション 協会 事務局長
第5回	1月13日（水） 14:50～15:50	<b>【ビジネスイベントのトレンドと未来】 ※録画配信（日本語字幕あり）</b> “There’s no future without history”国際会議主催者（国際本部）および参加者を対象としたバーチャルイベントに対する意識と今後の期待に関する直近の調査結果をもとに、将来のビジネスイベントの方向性を考えます。	<b>Ori Lahav 氏</b> President IAPCO - International Association of Professional Congress Organizers

（講師、講義内容および開催順序は変更することがあります）

## 講座内容 インセンティブツアー【全5回】

本講座の狙い：

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を目前に控え、東京はインセンティブツアーを主催する海外企業やミーティングプランナー等の注目を一身に集めています。本講座は、今後インセンティブツアーの誘致・受入をしていく上で必要な示唆に富むアイデアや事例、ノウハウ等を提供することにより、「新しい日常」に対応しうるグローバルスタンダードを身につけた人材を育成し、実践的スキルの向上を図ることを目的としています。

	日時	講義項目(予定)	講師
第1回	1月14日(木) 10:30~11:30	【スポーツエージェントの今~ニーズと課題~】※録画配信(日本語字幕あり) 昨今聞かれるようになった国際的スポーツエージェントの存在。東京2020大会を迎えるにあたり、業界が何を求められるのか、国際スポーツイベントを担当するスポーツエージェントによるオペレーションの観点から想定される課題、今後の活動計画やウィズコロナ対応を施した海外事例等を学びます。	Andreas Engels氏 Director of Operations teamtravel International GmbH (DMC/スポーツエージェント)
第2回	1月14日(木) 13:30~14:30	【これからのインセンティブツアー~マーケティングとプロモーション~】 企業のミーティングプランナーとして培った豊富な経験や実績をもとに、きめ細やかかつグローバルな視点を持ったマーケティング手法やプロモーション、業界の仕組み、ポストコロナにおける課題等を具体的な事例を交えながら学びます。	山本 牧子氏 MPI Japan Chapter 名誉会長
第3回	1月14日(木) 14:50~15:50	【今後DMCに求められること】 これまで数多く手がけたインバウンド案件の中からインセンティブツアーを中心に厳選した事例紹介と、インセンティブツアー誘致でDMCに求められること、ポストコロナにおける課題とその解決方法等、実例を交えながら学びます。	グライント・ホルト氏 THE J TEAM(株) 代表取締役
第4回	1月15日(金) 10:30~11:30	【ホテルサービスに今求められていること】 「Go Toキャンペーン」「もっと楽しもう! TokyoTokyo」等で注目されるウィズコロナにおけるホテルサービス。本講座ではホテルが提供する数あるサービスの中から今後インセンティブを誘致する際に役立つスキルについて触れていきます。クライアントのニーズを引き出すことの重要性、外部環境に左右されないサービス等、過去の事例、現在の国内需要の動向を踏まえながら学びます。	山本 幸次郎氏 ホテル椿山荘東京 宿泊支配人
第5回	1月15日(金) 13:30~14:30	【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催までの計画と課題】 東京2020大会は世界中の人々がその開催を楽しみにしていることはもちろん、海外企業やミーティングプランナーにとっても今後彼らが東京でのインセンティブツアー実施を検討していくにあたり大変注目しているイベントです。本講座では現在の準備状況、開催までの計画や課題等を学びます。	高橋 恭子氏 東京都オリンピック・ パラリンピック準備局 計画推進部 計画推進担当課長

(講師、講義内容および開催順序は変更することがあります)

**講座内容**  
**テーマ別【全6回】**

本講座の狙い：

変化の激しい国際トレンドの潮流を把握するべく、各分野に精通した講師による講義を予定しております。特に、過去の講座のアンケートで要望の多かった専門的なテーマを横断的に網羅するとともに、「新しい日常」に対応した取組など最新の情報を盛り込んだ講座になっております。

	日時	講義項目（予定）	講師
第1回	1月18日（月） <u>サステナビリティ</u> 10:30～11:30	<b>【MICE 業界におけるサステナビリティの可能性】</b> SDGs という人類共通言語の世界への浸透が進む中、コロナ禍によりサステナビリティへの取組が世界規模で一層加速しています。この世界的な大きな潮流が日本に与える影響について、そして東京のあるべき姿を皆さんと一緒に考えたいと思います。	松原 努氏 日本コンベンションサービス(株) 営業企画室 サステナビリティ・SDGs 推進リーダー
第2回	1月18日（月） <u>エリアマネジメント</u> 13:30～14:30	<b>【都心型エリア MICE 誘致を推進する DMO 六本木の取組み】</b> DMO 六本木は、都心型エリア MICE 誘致に特化した DMO として活動しています。DMO 六本木の会員同士が連携し、エリアが一体となって推進している MICE 誘致開催支援の取組とウィズコロナにおける安全・安心な MICE 開催を世界に向けて発信する取組について学びます。	坂本 和也氏 DMO 六本木 事務局長
第3回	1月18日（月） <u>イベント</u> 14:50～15:50	<b>【「This is Quebec × MUTEK.JP」渋谷誘致の実現】</b> ケベックで12億ドルの経済規模に達するデジタルクリエイティブ産業のショーケースイベントである「This is Quebec」と、同じくケベック発祥の電子音楽とデジタルアートの祭典「MUTEK.JP」。この二つのイベントを同時期に渋谷へ誘致し、来場者 7,500 人を超える成功を収めた実例をもとに、誘致開始から利用決定、本番開催までのプロセスと実践について、イベントの誘致開催を初めて経験した実務者ならではの視点で学びます。	吉澤 裕樹氏 東急株式会社 ビル運営事業部 渋谷運営グループ 価値創造担当 課長
第4回	1月19日（火） <u>ユニークベニュー</u> 10:30～11:30	<b>【オープンエアのユニークベニューの活用】</b> ウィズコロナにおいて、ユニークベニューの中でも屋外施設・ルーフトップ施設の活用は、安全・安心の観点からも有効であると考えられます。本講座では、ユニークベニューのもたらす効果や今後さらに活用していく上での課題や具体的な取組などを学びます。	野口 英明氏 公益社団法人 東京歴史文化財団 事務局 プロモーション担当課長
第5回	1月19日（火） <u>テクノロジー</u> 13:30～14:30	<b>【ハイブリッド型 MICE の現状と新たなテクノロジー】</b> コロナ禍によって世界的に MICE 開催の在り方が大きく変化し、テクノロジーの有効活用が MICE 開催に不可欠な要素となりつつあります。定着し始めたリアルとバーチャルのハイブリッド型 MICE の現状と、今後活用が期待される新たなテクノロジーなどについて学びます。	斎藤 大一氏 日本イベント 業務管理士協会 理事
第6回	1月19日（火） <u>展示会</u> 14:50～15:50	<b>【ウィズコロナに対応した展示会運営の実現】</b> コロナ禍において、第90回東京インターナショナルギフトショーの開催を実現させた(株)ビジネスガイド社。同社の積極的な感染症対策に基づく安全・安心な商談環境の提供など、ウィズコロナに対応した展示会運営について学びます。	藤波 信義氏 (株)ビジネスガイド社 事業部本部長

（講師、講義内容および開催順序は変更することがあります）

※ テーマごとの申込みが可能となっております。